

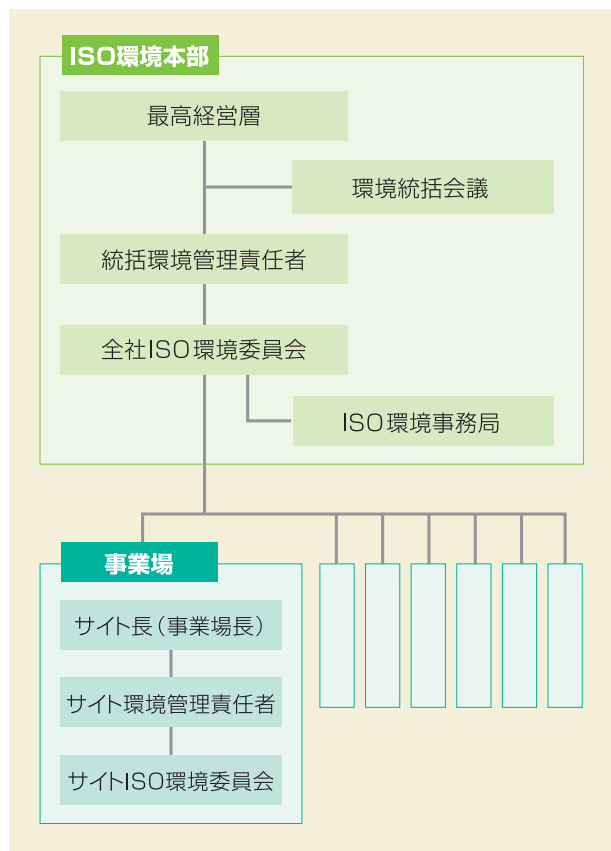
環境活動を支える仕組み

宝グループ環境マネジメントシステム組織図

宝酒造では2002年度までに国内全事業場である6工場、10支社、本社（同一ビルに入居している宝ネットワークシステム（株）、（株）トータルマネジメントビジネスを含む）でISO14001の認証取得を完了しました。そして2004年11月には統合審査を受審し、1月に統合認証を取得しました。現在は、環境本部を中心に、中期経営計画とISO14001の目標を連携させるなど、経営と直結した目標に向かって活動しています。

各事業場では、環境管理責任者が中心となり具体的な活動を推進しています。

ISO14001、9001取得年表→  9



宝グループ環境方針

1. TaKaRaの企業理念

「自然との調和を大切に、発酵やバイオの技術を通じて人間の健康的な暮らしと生き生きとした社会づくりに貢献します」

この基本理念に基づいて、宝グループは積極的に環境保全に取り組み、豊かな社会づくりに貢献します。

2. 基本方針

宝グループの業務内容は、宝グループ全体の経営資源配分等グループ戦略の推進やIR活動および酒類・食品・酒精事業全般とこれを支援するマーケティング調査・人材派遣、IT化支援など多岐にわたっています。

これらの活動が環境に与える影響を的確に把握し、地球環境保全に貢献するために、次の基本方針に基づき活動します。

- (1) 地球環境の保全と事業活動の調和を経営の重要課題の一つとして取り組みます。
- (2) 環境マネジメントシステムを構築し、継続的な改善と汚染の予防に努めます。
- (3) 環境に関する法規制及び組織が同意するその他の要求事項を遵守します。
- (4) 事業活動全般の環境影響評価を的確に行い、技術的、経済的に可能な範囲で目的・目標を定めて実践し、また定期的に見直すことにより環境パフォーマンスの向上を図ることを約束します。
- (5) 宝グループが行う事業活動の中、特に以下の項目について優先的に環境保全活動を推進します。
 - ①天然資源を大切に、省資源・省エネルギーに努めます。
 - ②環境に配慮した商品開発に努めます。
 - ③グリーン購入に努めます。
 - ④環境活動への取組み、環境パフォーマンス情報を積極的に開示し、社会とのコミュニケーションに努めます。
- (6) 本環境方針は、教育啓蒙活動を通じて宝グループの全構成員に周知するとともに、社員の社会貢献活動への参加を積極的に支援します。なお、本環境方針は、一般の人が入手可能なものにします。

2004年4月1日
宝ホールディングス株式会社 代表取締役社長
宝酒造株式会社 代表取締役社長
大宮 久

(注) ISO14001における宝グループとは、宝ホールディングス（株）、宝酒造（株）、（株）トータルマネジメントビジネス、宝ネットワークシステム（株）で構成されています。

環境関連法規遵守状況

環境汚染の未然防止の観点から、法令遵守はもとより自主基準やガイドラインを設定し、環境管理に取り組んでいます。ISO14001のシステムを有効に利用して定期的なチェックを実施し、法令遵守状況を確認しています。なお2004年度は環境関連法規に対する違反事項はありませんでした。

【主要な環境関連法規】

公害関係法規（大気、水質、騒音、振動、土壌汚染、悪臭）、廃棄物処理関係法規、化学物質管理関係法規（PRTR法、毒物劇物取締法）、リサイクル関係法規（容器包装リサイクル法、食品リサイクル法、資源リサイクル法）、防災・危険物関係法規 等

宝グループ環境目標

■2004年度 環境目標達成状況 (評価:達成が○、80%以上達成が△、80%未満達成が×)

項目	2004年度目標	2004年度結果	評価
1 生産部門省エネルギー (原油換算 生産量1kℓあたり)	2000年度対比 5%削減	2000年度対比 2.7%増加	×
2 生産部門用水削減 (生産量1kℓあたり)	2000年度対比 31%削減	2000年度対比 31.2%削減	○
3 工場廃棄物(副産物含まず) 排出量削減(生産量1kℓあたり)	2000年度対比 40%削減	2000年度対比 25.6%削減	×
副産・廃棄物再資源化率	再資源化率 99.5%以上	再資源化率 97.0%	
4 コピー用紙削減	2001年度対比 32%削減	2001年度対比 28%削減	△
5 グリーン購入推進 (対象:コピー用紙除く事務用品)	グリーン購入率 72%以上	グリーン購入率 86%	○
6 エコ商品の開発	環境配慮型の工夫仕組みを持つ 商品を2品目以上発売	環境配慮型の工夫仕組みを持つ 商品を2品目発売	○
7 環境コミュニケーション推進	環境報告書の配布部数 11,000部以上	環境報告書の配布部数 12,952部	○

■2005-2007年度 環境目標

ISO14001の環境目標設定期間を第6次中期経営計画(2005-2007年度)と連動させ、宝酒造グループ全体が一つの目標に向かって活動を推進できる体制を整え

るとともに、営業部門にかかわる目標も追加し、見直しを行いました。

項目	2005年度目標	2006年度目標	2007年度目標
1 生産部門CO ₂ 削減 (生産量1kℓあたり)	2004年度対比 2%削減	2004年度対比 2%増加	2004年度対比 2%増加
2 物流部門CO ₂ 削減 (販売数量1kℓあたり)	2004年度対比 8%削減	2004年度対比 9%削減	2004年度対比 10%削減
3 生産部門用水削減 (生産量1kℓあたり)	2004年度対比 14%増加	2004年度対比 8%増加	2004年度対比 6%増加
4 工場廃棄物(副産物含まず) 排出量削減(生産量1kℓあたり)	2004年度対比 7%増加	2004年度対比 17%削減	2004年度対比 19%削減
副産・廃棄物再資源化率	再資源化率 99.5%以上	再資源化率 99.5%以上	再資源化率 99.5%以上
5 オフィス部門電力使用量の削減	2004年度対比 2%削減	2004年度対比 3%削減	2004年度対比 3%削減
6 コピー用紙使用量削減	2004年度対比 3%削減	2004年度対比 6%削減	2004年度対比 10%削減
7 環境配慮型商品の開発	環境配慮型の工夫仕組みを持つ 商品を2品目以上発売	環境配慮型の工夫仕組みを持つ 商品を2品目以上発売	環境配慮型の工夫仕組みを持つ 商品を2品目以上発売
8 環境配慮型商品の販売促進	「はかり売り」新規実施店 10店以上	「はかり売り」新規実施店 10店以上	「はかり売り」新規実施店 10店以上
9 営業部門低公害車導入率の向上 (対象車両 ☆☆☆以上)	低公害車導入率 55%以上	低公害車導入率 70%以上	低公害車導入率 80%以上
10 環境コミュニケーション推進	緑字企業報告書の配布部数 13,000部以上	緑字企業報告書の配布部数 13,000部以上	緑字企業報告書の配布部数 13,000部以上

※生産部門CO₂は、2006年度以降原料用アルコール蒸留が増えるため増加の見込みです。

生産部門用水及び2005年度の廃棄物排出量は、本格焼酎の生産が増えるため増加の見込みです。